

自然観察の服装

自然の中に
でかけて
みよう！

山・草地

海辺・川



ハチの活動が活発な夏～秋は、黒っぽい色の服の着用は避けてください。
季節に合わせて防寒具を準備し、虫刺されにも備えましょう。

便利な持ちもの

おでかけ前に
チェック！



地図
慣れない場所も
これで安心



カメラ
生きものや
景色の記録に



図鑑
生きものの名前が
わかると楽しさ倍増



雨具
急な雨対策に



ペン
観察記録や
思い出を記そう



タオル
汗拭きだけでなく
日よけにも



双眼鏡
鳥の姿も
遠くの景色もバッチリ



飲み物
夏でも冬でも適度な
水分補給を



ルーペ
見慣れたものにも
発見があるかも



ポリ袋
レジ袋でもOK
使い方は様々

身近な自然 横須賀 検索

横須賀市環境政策部 自然環境共生課

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地

TEL.046-822-8331 FAX.046-821-1523

www.city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀 身近な自然 ガイドブック

NATURE
of
YOKOSUKA

ガイドブックを持って 自然観察にでかけよう

横須賀市は、三浦半島の中央に位置し、砂浜などの海辺、川、森などの多様な自然環境がコンパクトな範囲に存在し、身近に自然と親しむことができます。このガイドブックを手に、美しい景色とそこにすむ生きものたちをみつけに出かけてみましょう。

こんなことに注意しましょう

むやみに生きものをとらない

生きものの自然な姿を観察しましょう。捕まえて観察したら逃がしましょう。

餌付けをしたり、 よその生きものを持ち込まない

生態系のバランスを崩す原因になってしまいます。他の場所から生きものを持ち込んで放さないでください。

ごみを捨てない・水を汚さない

生きものがすむ環境を守るため、ごみは持ち帰り、海や川の水を汚さないようにしましょう。

天気などの変化に気を付ける

出かける際は、事前に天気や潮位などを調べましょう。

危険な場所に近づかない

三浦半島は急傾斜地が多く、崩れやすく危険な場所があります。豪雨による急な増水にも気を付けましょう。

道を外れない

観察路の外を歩くと貴重な草花を踏んでしまったり、木の根が枯れる原因となります。観察スポット周辺の立入禁止区域や民有地には無断で入らないようにしましょう。

危険な生きものに気を付ける

自然の中には危険な生きものもありますが、むやみに触らず、刺激を与えないようにしましょう。

ガイドブックの見方

本ガイドブックは、横須賀市内の主な自然環境のタイプ(P.2～9)と、自然スポット(P.10～21)を掲載しています。

自然環境のタイプから 行きたい場所を探す

海辺 → P.2、3
川 → P.4、5
樹林・草地 → P.6、7
谷戸・里山 → P.8、9

エリアから 行きたい場所を探す

自然スポットインデックス
→ P.10、11
東京湾エリア → P.12、13
野比・武山・長坂エリア
→ P.14、15
平作川エリア → P.16、17
大楠山エリア → P.18、19
相模湾エリア → P.20、21

本ガイドブックは、平成24～28年度に横須賀市で実施した自然環境調査を行った場所を中心に、市内の特徴的な観察スポットをまとめています。

〔写真協力〕 天白牧夫氏、三浦半島自然保護の会、横須賀「水と環境」研究会、横須賀市自然・人文博物館 〔編集協力〕 (公財)日本生態系協会

海辺

海辺ミニ知識



猿島の砂浜は黒い色をしています。これは砂に多くの砂鉄が含まれているためです。

三方を海に囲まれた横須賀市には、
砂浜、磯、海崖、干潟など
さまざまな環境があり、
それぞれに特徴ある生きものを
見ることができます。
海の中には魚の卵や赤ちゃんが
安心して暮らせるアマモ場があり、
様々な生きものを育てています。

砂浜

比較的長い砂浜は野比海岸～津久井浜や芦名～立石などに広がっています。砂浜には、コウボウシバやハマダイコンなどの海岸植物が生育し、**ハマダンゴムシ①**、ヒョウタンゴミムシなどの海浜性昆虫やスナガニの巣穴が観察できます。砂浜の後ろにある草地では、**ショウリョウバッタ②**や、モンシロチョウなどの昆虫も見ることができます。

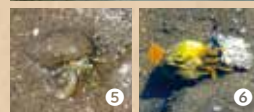
観察場所 ▶ 県立観音崎公園 p.13、開国橋周辺 p.17、天神島・笠島 p.21



干潟

干潟は、潮が引くと現れる砂泥地で、遠浅の海岸や河口などで見られます。渡り鳥の休憩場所、多様な生きものの生息場所としてだけでなく、環境浄化の面からも貴重な自然と言えますが、横須賀では干潟がみられる場所は限られています。**ユビナガホンヤドカリ⑤**、**コブヨコバサミ⑥**などのエビ・カニ類、ホソウミニナ、アラムシロガイなどの貝類が見られます。

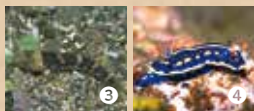
観察場所 ▶ 富浦公園 p.20



磯・海崖

岩場ではフジツボ類やヒザラガイ、巻貝などの貝類、干潮時の潮だまりでは、**アゴハゼ③**やホンヤドカリなどが観察できます。特に**ウミウシ類④**は豊富で、天神島など市内に100種類以上生息しています。海崖では崖の上などにイソギクやアスタバなどの海岸植物が生育し、アオスジアゲハやキアゲハなどのチョウ類も見られ、冬にはウミウが集まって休息する姿を見ることができます。

観察場所 ▶ 猿島 p.12、県立観音崎公園 p.13、荒崎公園 p.20、天神島・笠島 p.21



アマモ場

海底が砂や泥の浅場には、海藻と異なり花と種子をつける海草のアマモが生えており、アマモ場と呼ばれています。アマモ場は、**アメハギ⑦**などの魚類や**バカガイ⑧**などの貝類、タイワンガザミやホンモエビなどがすみ、産卵や稚魚が成育する場所になっていることから「海のゆりかご」とも呼ばれています。観察には、胴長の着用などの準備や、漁業権の侵害とならないよう注意が必要です。

観察場所 ▶ 走水海岸 p.13



危険な生物 毒のある生きもの、カキ殻やフジツボなどでの切り傷や転倒などに気を付けましょう。



アカクラゲ① 直径20cmほどのカサに赤い縞模様。強力な毒をもっています。アンドンクラゲ② 無色透明で水中で発見しづらいクラゲで、触手には強い毒があります。ゴンガゼ③ ウニの仲間で、トゲには毒があります。トゲは長いもので30cmを超えます。ゴンズイ④ 背びれと胸びれに毒腺がある毒針を持っています。ハオコゼ⑤ 背びれに強い毒があります。刺された場合、きれいな水で洗い、熱めのお湯に患部をつけます。

川

川ミニ知識



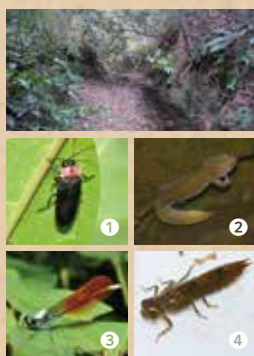
市内にはアユが生息する川があります。アユは川で産卵し、稚魚の時には海や河口に下ってすこし、大きくなると再び川に上る魚で、海と川のつながりが守られていることが必要です。

横須賀市内には37の川があります。
半島という地形を反映して、
傾斜が急で短い川が多く、
ほとんどが5km未満で、
最も長い平作川でも約11kmの長さです。
平作川の上流域、前田川、関根川の
中流域などの細い流れで
比較的良好に自然が残っています。

上流

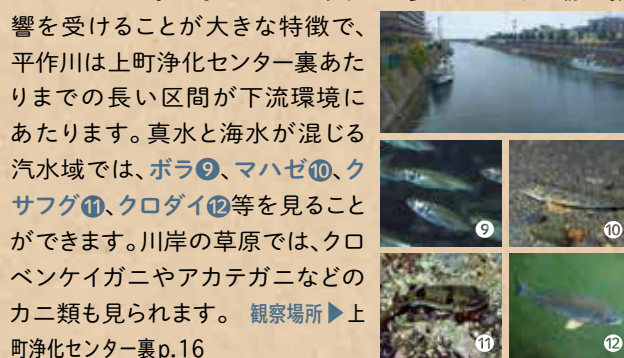
川の上流域は、河原や流れの中に大きな岩が多く、川底は砂や礫が大部分です。市内を流れる河川

は距離が短く、限られた河川でのみ、このような環境を見ることができます。流れのゆるい部分にアブラハヤやクロヨシノボリなどがあり、細流ではゲンジボタル①やトウキョウサンショウウオ②など希少な生きものも生息しています。また、アサヒナカワトンボ③、ミルンヤンマ④(写真はヤゴ)などのトンボ類を見ることができます。 観察場所▶阿部倉・湯ノ沢p.16、前田川p.18



下流

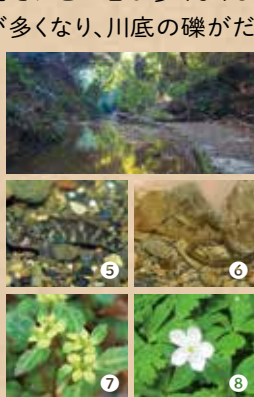
川の下流域では、ゆったりとした流れになり、河原は小さな石や砂、土が多くなります。潮の影響を受けることが大きな特徴で、平作川は上町浄化センター裏あたりまでの長い区間が下流環境にあたります。真水と海水が混じる汽水域では、ボラ⑨、マハゼ⑩、クサフグ⑪、クロダイ⑫等を見ることができます。川岸の草原では、クロベンケイガニやアカテガニなどのカニ類も見られます。 観察場所▶上町浄化センター裏p.16



中流

川の中流域では、河原で大きな岩を見かけなくなり、こぶし大から頭の大きさほどの石が多くなります。上流に比べて、川幅が広く水量が多くなり、川底の礫がだんだん少なくなり、砂が多くなります。流れでは、シマヨシノボリ⑤、ヒラテテナガエビ⑥、アユ、アブラハヤなどを見ることができます。周辺に樹林が広がる溪流環境では、イワボタン⑦やノコギリシダ、タニギキョウ、ニリンソウ⑧などの湿った場所を好む植物が見られ、初夏にはゲンジボタルが見られる場所もあります。 観察場所▶前田川p.18、関根川p.19

観察場所▶前田川p.18、関根川p.19



ゲンジボタル



ゲンジボタルは、川や水路などのきれいな流れのある水辺で見られます。幼虫は川にいるカワニナを食べ、植物の茂る土の岸辺で成長を遂げることから、豊かな自然の象徴ともいえます。昔よりもみられる場所は減っていますが、市民による保護活動や自然環境等に配慮した河川改修等により守られています。

NATURE of YOKOSUKA

樹林・草地

よこすかの
自然

樹林・草地ミニ知識



秋の樹林では様々な種類のどんぐリが見られます。拾って比べてみましょう。「クヌギ」丸くて大きい。帽子にはトゲがある。「コナラ」小さくて細長い。帽子はウロコ状。「シラカン」やや縦長。帽子はシマシマ。「スダジイ」細長くて先がとがる。帽子はチュリッブツ状。

樹林は大楠山、衣笠山、武山、田浦周辺を中心に広がっており、市域の約3分の1を占めています。豊かなみどり残り、様々な生きものに会える一方で、雑木林や竹林の荒廃が課題です。草地は、小型の哺乳類や昆虫などの恰好のすみかとなっていますが、昔に比べて減っており貴重な環境です。

自然林

横須賀市に現存する樹林の大部分は、人の手が入っているため、自然に育った樹林はごく一部に限られており、土地本来の自然環境や生態系を知る上で貴重です。人の活動の影響を受けないよう、地域で長く守られてきた植生で、社寺や海岸沿いなどを中心に残されています。**スダジイ①・タブノキ②**・カシ類等の常緑広葉樹が多く見られます。観察場所▶猿島p.12、県立観音崎公園p.13



雑木林

薪や用材を得るためにクヌギ、コナラ、マテバシイ、**オシマザクラ③**などを植栽し、定期的に伐採と再生が繰り返されてきた森です。春には、**キンラン④**、ギンラン、ホウチャクソウ、ムラサキケマンなどが花をつけ、コジャノメ、ゴマダラチョウ、ムラサキシジミなどのチョウが舞い、夏にはクヌギの樹液に集まるカブトムシやコクワガタなどを見ることができます。観察場所▶鷹取山p.13、武山p.14、大楠山p.18



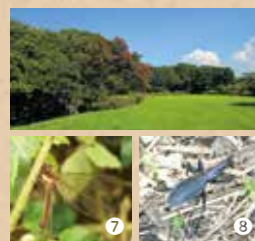
竹林

食用のタケノコ、竹細工や建築用材への利用を目的として、**マダケ⑤**や**モウソウチク⑥**が日本各地で広く植えられました。しかし、竹林は生活様式の変化により雑木林同様に利活用されなくなり荒廃が進んでいます。竹を食べるタケトラカミキリやベニカミキリなどが見られます。観察場所▶p.15沢山池の里山

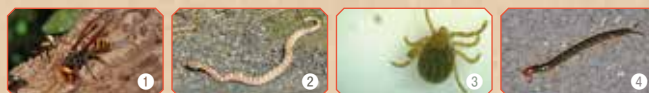


草地

かつては家畜の飼料やかやぶき屋根の材料のために、広いススキやササ類の草地が維持されてきましたが、現在では、海辺、耕作を休止した農地、開発途中の場所など自然の草地がある場所は少なくなっています。**ツノトンボ⑦**、カタツムリを食べる**ヒメマイマイカブリ⑧**や、ジャノメチョウなどのチョウ類、ナキナゴ、ヒガシキリギリスなどのバッタ類などの昆虫が生息し、ホオジロやモズなどの鳥類も見られます。観察場所▶湘南国際村めぐりの森 p.18



危険な生物 森や草地でのハイキングなどは、危険な害虫などから身を守るために露出の少ない服装を心掛けましょう。



【オオスズメバチ①】気性が荒く、強い毒を持つため、刺激しないよう注意が必要です。特に晩夏～秋にかけては攻撃性が高まります。【ニホンマムシ②】攻撃的な個体が多いため、見かけたら近づかないようにしましょう。【マダニ③】動物に噛みついて吸血し、寄生します。マダニが媒介する感染症への注意が必要です。【ムカデ④】トビズムカデ、アオズムカデ、アカズムカデが見られます。積極的に攻撃してこないのに、遭遇したら離れましょう。

谷戸・里山

谷戸・里山ミニ知識



アメリカザリガニは、1916年にウシガエル養殖の餌として北米から持ち込まれ、逃げ出したものが全国に広がりました。アメリカザリガニが増えたため池では水生植物や水生昆虫が食べられてしまい、地域本来の自然の危機を招いています。

三浦半島には、幅の狭い小さな谷が数多く存在し、それらは谷戸と呼ばれています。

かつて谷戸の平地には水田が作られ、

小さな流れや周辺の雑木林とセットになり、

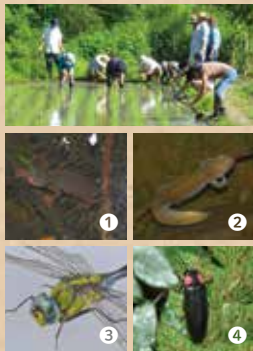
多くの生きもののすみかとなっていました。

この特徴的な環境が固有の生態系をつくり、

三浦半島ならではの里山的環境がつくられました。

水田

かつては多くの谷戸で水田が見られましたが、現在はわずかに残るのみで、一部では再生活動が行われています。水田周辺にはオモダカなど湿性植物が生育し、アカハライモリ①、トウキョウサンショウウオ②などの両生類、クロスジギンヤンマ③などのトンボ類、ヘイケボタル④が生息しています。観察場所▶かがみ田 p.15



水路

水田・ため池などをつなぐ水路では、初夏の夜に、ゲンジボタルが光りながら飛ぶ姿が見られます。その他、カワニナ⑦やカワゲラの一種が生息しており、水路脇ではトクサ、スギナ⑧など水辺の植物が見られます。観察場所▶かがみ田 p.15、沢山池の里山 p.15



ため池

ため池には、ヨシ⑤やガマ等の水辺ならではの植物が繁茂し、オナガガモ⑥、ホシハジロなどカモ類等の水鳥の生息場所になっています。しかし、高度成長期以降、営農されなくなった場所が増えたことで、水田やため池も減少し、そこで見られた生きもののたちの姿も減少しました。観察場所▶沢山池の里山 p.15、芦名堰 p.19



里山的環境の保全と活用



減少が進む水田・ため池・水路は、多くの水辺の生きものにとって重要な環境であり、自然とのふれあいの場としても適した場所であることから、市や市民団体・事業者が協力して、里山的環境を蘇らせる活動を沢山池の里山などで実施しています。

昔の横須賀



春先に田んぼを起こし、イネを植え、秋に収穫し、冬は山で薪をとるという里山的環境での営みが途絶えたのは、今から40～50年ほど前のことです。かつては市内にも田園風景が広がっていました。[平作・金谷周辺 1950年代①][長沢周辺 1982年②][通研通り周辺 1982年③]

自然スポットインデックス



海辺



川



樹林・草地



谷戸・里山

東京湾エリア p.12-13

東京湾唯一の自然島「猿島」をはじめ、自然や歴史、眺望等さまざまに楽しめるエリアです。

1



猿島

2



馬堀自然教育園

3



鷹取山

4



西逸見はたるの里

5



走水海岸

6



県立観音崎公園

7



燈明堂周辺

野比・武山・長坂エリア p.14-15

展望の良い「武山」のほか、里山的自然環境や長い海岸など、ハイキングやウォーキングに適したエリアです。

1



武山

2



野比海岸～北下浦海岸

3



かがみ田

4



沢山池の里山

5



光の丘水辺公園

大楠山エリア p.18-19

三浦半島の最高地点「大楠山」からの雄大な眺望や自然が残る前田川など、豊かな自然を感じることができるエリアです。

1



前田川

2



大楠山

3



湘南国際村めぐりの森

4



芦名堰

5



関根川

平作川エリア p.16-17

市内で最も長い「平作川」沿いのこのエリアでは、森の溪流から河口まで川辺の自然を楽しむことができます。

1



阿部倉・湯ノ沢

2



万葉公園

3



衣笠中学校前

4



上町浄化センター裏

5



開国橋周辺

相模湾エリア p.20-21

砂浜・岩浜・干潟といったさまざまな海岸があり、海辺の生きものの観察や磯遊びが楽しめるエリアです。

1



荒崎公園

2



富浦公園

3



立石公園

4



斉田浜

5



長浜海岸

6



天神島・笠島



東京湾眺望



猿島

インギク



アサギマダラ

横須賀エコツアー

「猿島」「観音崎」「大楠・西海岸」「長井・荒崎」でガイドがご案内します。詳しくは、webへ。「横須賀エコツアー」で検索。

Sarushima

海を渡るチョウ、アサギマダラが舞う
東京湾に浮かぶ唯一の自然島

猿島

1

島内部にはタブノキを中心とした自然林が残されています。周辺は砂浜、磯、海崖などがあり、海岸植物や貝や魚等を見ることができます。

④ 猿島1 ⑤ 京急横須賀中央駅から徒歩15分、三笠桟橋から乗船10分 ⑥ あり(三笠公園脇45台 有料) ⑦ 猿島公園専門ガイド協会
*別途、入園料、渡船料が必要です



アサギマダラ



Takatori Mountain

約600種の植物が生育する
岩石でできた奇観の山

鷹取山

3

④ 湘南鷹取3-3-520 ⑤ 京急追浜駅から湘南たかとり団地循環バス『たかとり小学校』バス停下車徒歩10分 ⑥ なし



Nishiemi Hotarunosato

地元の方に守られてきた
ホタルの舞う水辺

西逸見ほたるの里

4

④ 西逸見町3周辺 ⑤ 京急逸見駅から徒歩20分 ⑥ なし



Hashirimizu Kaigan

広い砂浜とアマモ場がある海辺

走水海岸

5

④ 走水1周辺 ⑤ JR横須賀駅または京急馬堀海岸駅からバス「観音崎」行き『伊勢町』バス停下車すぐ ⑥ あり(111台 有料)



Kannonzaki Koen

砂浜、岩場、潮だまりでの磯遊びと
東京湾の眺望を楽しめる

県立観音崎公園

6

④ 鴨居4ほか ⑤ JR横須賀駅または京急馬堀海岸駅からバス「観音崎」行き終点下車すぐ ⑦ 観音崎公園フィールドレンジャーの会 ⑥ あり(384台 有料)



Toumyodo Syuhen

ハマダイコン

トベラ

東京湾を一望できる江戸時代の灯台あと
岩上では三浦半島ならではの海岸植物を観察できる

灯明堂周辺

7

砂浜や岩場などの自然海岸が残る風景の良い場所です。
春には砂浜でハマダイコンやハマヒルガオの群生、磯ではアラレタマキビ、カメノテなどの付着生物が見られます。

④ 西浦賀6 ⑤ 京急浦賀駅からバス「千代ヶ崎経由 京急久里浜駅」行き『灯明堂入口』バス停下車徒歩5分 ⑥ あり(期間限定 有料)



ハマヒルガオ

三浦半島を代表する樹木が茂り
地域では希少となった水辺の生きものを観察できる

馬堀自然教育園

2

園内には一周約20分の観察路が整備され、三浦半島の生きものを観察できます。初夏にはホタルの観察会も開催しています。

④ 馬堀4-10-3 ⑤ 京急馬堀海岸駅から徒歩15分 ⑥ なし



アサギマダラ

東京湾





ス
ポ
ット
エ
リ
ア
別
お
す
め



Takeyama

野比・武山・長坂

貴重な自然林が残る山

武山

標高200mの山頂の展望台からは、東京湾、相模湾を一望でき、天気が良ければ富士山を見ることができます。秋には山頂でタカの渡りが観察でき、マテバシイの林を通るハイキングコースがあります。

④ 武1 ⑤ JR横須賀駅からバス「長井」方面行きまたは京急横須賀中央駅からバス「長井」方面行き『一騎塚』バス停下車徒歩40分、または京急津久井浜駅から徒歩60分 P なし



ナギラ



Kagamida

地域で守られてきた
里山的自然環境の残る谷戸

かがみ田

3

④ 野比5 ⑤ JRまたは京急久里浜駅からバス「野比海岸」行き『久里浜医療センター入口』バス停下車徒歩10分 P なし



Sawayamaike

市民、事業者、市の連携により
守られる里山の環境

沢山池の里山

4

④ 長坂5 ⑤ JR逗子駅からバス「横須賀市民病院」行きまたは京急三崎口駅からバス「横須賀市民病院」行き『横須賀市民病院』バス停下車徒歩25分 P なし



Nobikaigan~Kitashitaurakaigan

砂浜や岩場がつながる海岸

野比海岸～北下浦海岸

2

自然海岸が連続して残っています。しかし、潮の影響などにより、砂浜は減少しています。岩礁、砂浜、護岸上の草地ではイワダレソウなどの海岸植物が見られます。

④ 野比・長沢・津久井 ⑤ 京急YRP野比駅または京急長沢駅から徒歩7分 P あり(有料)



イワダレソウ



Hikarinooka Mizube Koen

4つの池と樹林があり一年を通じて野鳥観察を楽しめる公園

光の丘水辺公園

5

市民ボランティアとの協働により三浦半島の生きものの保全と復元を目指しています。春にニリンソウ、初夏にハンゲショウが咲き誇り、期間限定で公開しています。

④ 光の丘1177-2 ⑤ 京急YRP野比駅から「通信研究所」または「光の丘2番」行きバス『YRPセンター』下車徒歩3分 P なし



ヤマホトトギス



ス
ポ
ット
お
す
め
エ
リ
ア
別

平作川



サワガニ

ヘビトンボ(幼虫)

Abekura・Yunosawa

ホタルの舞う森の溪流

上流 | 阿部倉・湯ノ沢 1

森の中を流れる溪流が残されており、春にはイワボタンが咲き、夏の夜にはゲンジボタルが舞います。また、ヘビトンボやトンボのヤゴなどの水生昆虫も見られます。

- 住 阿部倉32
- 交 JR衣笠駅からバス「逗子」行き『大楠山登山入口』バス停下車徒歩15分
- P なし



ネコノナリ



Manyo Koen

トンボが舞い川音が聞こえる公園
中流 | 万葉公園 2

- 住 平作3-7
- 交 JR衣笠駅から徒歩15分
- P なし



Kinuqasachugakko Mae

ハグロトンボがくる水辺
中流 | 衣笠中学校前 3

- 住 平作2-31-1
- 交 JR衣笠駅から徒歩15分
- P なし *安全確保のため、川岸から観察しましょう。



Uwamachi Jyoka-center Ura

まちなかで身近に生きものが見られる
下流 | 上町浄化センター裏 4

護岸はコンクリート整備され、周辺には住宅が広がりますが、河川内に草地があることからクロベンケイガニやアオサギなどが見られます。

- 住 公郷町1-25
- 交 JR衣笠駅からバス「堀ノ内駅」行きまたは京急堀ノ内駅からバス「衣笠駅」行き『公郷1丁目』バス停下車徒歩3分
- P なし *安全確保のため、川岸から観察しましょう。



ヒナハセ

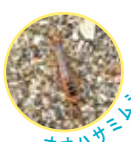


Kaikokubashi Syuhen

草地の生きものや魚が観察できる
河口 | 開国橋周辺 5

浦賀側の広い草地は海岸植物が豊富で、オオハサミムシなどの昆虫がいます。河口にかかる開国橋からは、クサフグ、クロダイの泳ぐ姿を見ることができます。

- 住 久里浜7
- 交 JRまたは京急久里浜駅からバス「野比海岸」行き『開国橋』バス停下車すぐ
- P なし



オオハサミムシ



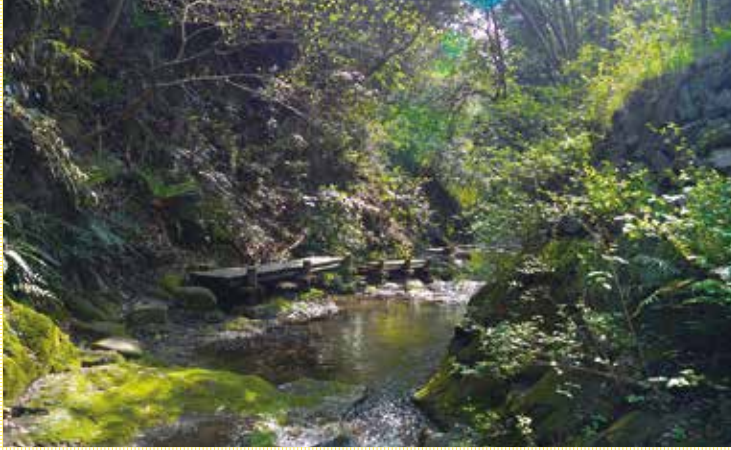
ハマダイコン

コウボウムギ



ス エ リ
ポ す ア
ット す 別

大楠山



前田川

木漏れ日射す渓流の散策が楽しい
自然が残された三浦半島では数少ない川のひとつです。流れの近くに降りて歩ける遊歩道があり、ヨシノボリ類やエビ類などを見ることができます。

住 秋谷2 交 JR 逗子駅または京急新逗子駅からバス「長井」方面行き『前田橋』バス停下車すぐ P なし



シマヨシノボリ



三浦半島最高峰からの眺望を楽しむ 大楠山

標高242mで、山頂付近の展望台からは、伊豆半島、富士山、箱根連山、大島、房総半島と360度の一大パノラマが広がります。

住 芦名3 交 JR 逗子駅または京急新逗子駅からバス「長井」方面行き『大楠芦名口』バス停下車徒歩60分 カ おおくすエコミュージアムの会(大楠山と相模湾の一部をガイド) P なし



ノコンギク



多くの人の協力によって育てられている森 湘南国際村めぐりの森

市民、企業、行政が協力して苗木を植え、森を育てており、自然観察会なども行われています。三浦半島では少なくなった草花が広がり、カヤキリやクビキリギスなど草地ならではの生きものに会えます。

住 湘南国際村3周辺 交 JR 逗子駅または京急新逗子駅からバス「湘南国際村センター」行き終点下車徒歩5分 P なし



カヤキリ



市民団体が守る500年前からあると言われる古いため池

芦名堰

住 芦名2-14 交 JR 逗子駅からバス「長井」方面行き『大楠芦名口』バス停下車徒歩10分 P なし



子安の里を流れ、水に親しめる川辺 関根川

川の流れて沿って遊歩道が整備されており、ヨシノボリ類やヤゴを見ることができます。

住 秋谷1 交 JR 逗子駅または京急新逗子駅からバス「長井」方面行き『久留和』バス停下車徒歩5分 P なし



メスアカフキバツ



ス
ポ
ット
エ
リ
ア
別
お
す
め

相模湾



Arasaki Koen

三浦半島屈指の美しい岩場が広がり磯あそびが楽しめる

荒崎公園

1

海沿いには美しい岩場の続く景観が楽しめます。市内の希少な海岸植物の生育地で、インギク、ワダンなどが見られます。潮だまりではイソスズメダイなど熱帯の魚に出会えるかもしれません。

住 長井6周辺 交 京急三崎口駅からバス「荒崎」行き『荒崎』バス停下車徒歩5分 P あり (89台 無料、土日祝日及び夏季有料)



イソスズメダイ



Tomiura Koen

貴重な干潟が残る場所

富浦公園

2

公園前の海岸は市内で干潟環境が見られる数少ない場所です。エビ・カニ類やシギ・チドリ類などが観察できます。

住 長井1-29 交 京急三崎口駅からバス「荒崎」行き『富浦』バス停下車徒歩2分 P なし



ハチジョウハタ



Tateishi Koen

安藤広重も描いた景勝地

立石公園

3

波打ち際に巨岩が立つ風景は、古くから多くの画家や写真家に愛されてきました。

住 秋谷3-5 交 JR逗子駅または京急新逗子駅からバス「長井」方面行き『立石』バス停下車すぐ P あり(62台 無料)



ハマボトズ



Seitabama

ひっそりと残された砂浜

齊田浜

4

住 長坂2周辺 交 京急三崎口駅からバス「横須賀市民病院」行き終点下車、市民病院脇の松越川沿いに河口まで徒歩15分、西浄化センターの裏 P なし



Nahamakaigan

市内で最も水の透明度が高い海岸

長浜海岸

なはまかいがん

5

住 長井2周辺 交 京急三崎口駅からバス「横須賀駅」「荒崎」「市民病院」方面行き『矢作入口』バス停下車徒歩20分 P あり(200台 無料)



Tenjinjima Kasajima

ハマオモト(ハマユウ)の自然分布の北限

天神島・笠島

6

海岸には、スカシユリ、ハマボウ等の花の美しい海岸植物が生育し、天神島臨海自然教育園天神島ビジターセンターでは、三浦半島の海辺の自然を学ぶことができます。

住 佐島3-7-3 交 JR逗子駅または京急新逗子駅からバス「佐島マリーナ入口」行き終点下車徒歩5分 P あり(15台 無料)



ハマオモト

住 横須賀市以下の住所 交 アクセス P 駐車場

三崎